

17巻)およびPermuterm® Subject Index (14-23巻)より構成されている。Citation Indexの場合、著者名(例えばSHIRAIWA Y)をインデックスとして引けば、1996年に出版された学術雑誌の中で引用された本人の過去の論文について、それを引用した著者名、雑誌名、巻、年号が記載されている。その数を合計すれば当該論文の1996年における引用数となる(写真2)。Source Indexの場合、著者名で引くとその著者が1996年に発表した論文のリストが筆頭著者名、雑誌名、巻、年号で記載されている。Permuterm® Subject Indexの場合、Keywords検索ができる。ある用語を引くと、その用語が使われている論文のリストが検索できる。さらに、冊子体SCIには、5年間のデータをまとめたSCI Five Year Cumulationがあり、附属図書館にある1980-84年のものは全64巻にわたっている。そのうち、Citation Indexが1-34巻、Source Indexが35-45巻、Permuterm® Subject Indexが46-64巻よりなっている。実際、Web of Scienceの利用に慣れてしまえば、この冊子体を利用するとその困難さは相当なもの実感する筈である。

Web of Scienceの利用価値と課題

ISI社がトライヤルの際に強調したWeb of

Science利用のメリットの主なものは6項目に集約できよう。1)引用の流れをみて研究の動向がわかる、2)論文の孫引きの繰り返しができるので、見逃していた論文が見つかる、3)論文のインパクトがわかる、4)最多被引用論文がわかる、5)異なる分野での引用が調べやすい、6)キーワードからの論文検索が容易で1945年以降のデータが対象とされている。バックナンバーの充実を含め、さらなる資料の充実とより多くの方の利用がなされるよう切に望みたい。

(しらいわ・よしひろ 生物科学系教授)

		VOL	PG	YR
MANN DH	J QUAT SCI	11	267	96
91 B CHEM SOC JPN	64	191		
MOSELEY JD	TETRAHEDR-A	7	3351	96
93 CROP SCI	33	804		
BONDADA BR	CROP SCI	36	127	96
93 JPN J APPL PHYS PT 2	32	L20		
BHATTACH.E	SEMIC SCI T	11	531	96
DANESH P	J NON-CRYST	204	265	96
OTOBE M	JPN J A P I	35	1325	96
SHIRAIWA Y				
83 PLANT CELL PHYSIOL	24	919		
BERMANFR.I	J PHYCOLOGY	31	906	95
VILLAREJA	PLANTA	199	481	96
83 PLANT CELL PHYSIOL	26	919		
MITCHELL C	POLAR BIOL	16	95	96
85 PLANT CELL PHYSIOL	26	109		
NIEVA M	PLANT CEL P	37	1	96
91 JPN J PHYCOL SORUI	39	355		
SATOH A	PLANT CEL P	37	431	96
91 PLANT CELL PHYSIOL	32	311		
NIEVA M	PLANT CEL P	37	1	96
93 J IMAGING SCI TECHN	37	385		
ARNEY JS	J IMAG SC T	39	502	95
		40	233	96
93 PLANT CELL PHYSIOL	34	649		
ISRAEL AA	MAR ECOL-PR	137	243	96
SCARRATT MG	MAR CHEM	54	263	96
SEKINO K	PLANT CEL P	37	123	96
SHIRAKABE H				
56 JPN J CLIN RADIOL	1	25		
67 STOMACH INTEST	2	1005		
70 STOMACH INTEST	5	147		
OKADA M	ABDOM IMAG	21	133	96
88 ALIMENTARY TRACT RAD	p721			
HALVORSE.RA	SEMIN ONCOL	23	325	96

(写真2) 冊子体Citation Indexの記載例

本学教官寄贈著書紹介

平成14年1月～3月に寄贈を受けた本学教官の著書を紹介します。

(敬称略、寄贈者五十音順、所属は平成14年度のもので、〔 〕内は配架場所と配架番号です。)

赤木和夫(物質工学系)

- ・白川英樹博士と導電性高分子 / 田中和義共編, 化学同人, 2001 [中央, 中央本学 578-Sh83]

伊藤益(哲学・思想学系)

- ・高橋和巳作品論: 自己否定の思想, 北樹出版, 2002 [中央 910.268-Ta33]

入江康平(体育科学系)

- ・日置流弓術傳書拾遺その1, いなほ書房, 2001 [体芸 789.5-Ky8-15]

金原礼子(現代語・現代文化学系)

- ・フォーレの歌曲とフランス近代の詩人たち, 藤原書店, 2002 [中央 767-Ki46]

小俣幸嗣(体育科学系)

- ・(財)全日本柔道連名審判委員会資料集, 筑波大学体育科学系, 2001 [体芸 789.2-Ko61-1989 / 99]

椎貝博美（名誉教授）

- ・アーカイブス利根川 / 宮村忠監修, 信山社サイエンテック, 2001 [中央 517.213-A29]

進藤榮一（社会科学系）

- ・ユーラシア激動：独立国家共同体のゆくえ / 下斗米伸夫共編, 社会評論社, 1992 [中央 312.38-Sh62]

住田孝之（臨床医学系）

- ・EXPERT膠原病・リウマチ, 診断と治療社, 2002 [医学 493.14-Su65]

砂川有里子（文芸・言語学系）

- ・日本語文型辞典：教師と学習者のための / グループ・ジャマシイ編著, くろしお出版, 1998 [中央 参考 815-G95]
- ・中文版日本語句型辞典：日本語文型辞典中国語訳簡体字版 / グループ・ジャマシイ編著, くろしお出版, 2001 [中央, 体芸, 医学 参考 823-G95]
- ・中文版日本語文型辞典：日本語文型辞典中国語訳繁体字版 / グループ・ジャマシイ編著, くろしお出版, 2001 [中央 参考 823-G95]

関根久雄（社会科学系）

- ・開発と向きあう人びと：ソロモン諸島における「開発」概念とリーダーシップ, 東洋出版, 2001 [中央 332.73-Se36]

多田敦（名誉教授）

- ・農地工学 第3版 / 安富六郎, 山路永司共編, 文永堂出版, 1999 [中央 614-Y66]

徳田克己（心身障害学系）

- ・トラフィック・パリアフリー, ホンダ安全運転普及本部, 2001 [中央 369.27-To66]

徳田克己（心身障害学系）, 名川勝（心身障害学系）

- ・介護等体験の手引き：介護・介助の基本技術と体験のポイントを完全網羅, 協同出版, 2002（教職課程新書）[中央 373.7-To35]

中田光雄（現代語・現代文化学系）

- ・政治と哲学：ハイデガーとナチズム 論争史の一決算 上巻, 岩波書店, 2002 [中央 134.9-H51-1]

新津守（臨床医学系）

- ・膝MRI, 医学書院, 2002 [医学 494.77-N72]

西川潔（芸術学系）

- ・サイン計画デザインマニュアル, 学芸出版社, 2002 [体芸 526.49-N83]

根本承次郎（電子・情報工学系）

- ・レーザ工学, 培風館, 2001 [中央 549.95-N64]

浜田博文（教育学系）

- ・若い教師たちのあゆみ：教員の職能成長過程に関する基礎資料, [浜田博文], 2001 [中央 374.3-H22]

藤川昌樹（社会工学系）

- ・近世武家集団と都市・建築, 中央公論美術出版, 2002 [中央 361.78-F58]

堀池信夫（哲学・思想学系）

- ・中国哲学とヨーロッパの哲学者 下巻, 明治書院, 2002 [中央 122.02-H88-2]

宮寺晃夫（教育学系）

- ・教育哲学講義「教え（ティーチング）」の分析：教育理論史のコンテキストにおいて, 筑波大学教育哲学研究室, 2002 [中央, 体芸 371.1-Mi71]

守屋正彦（芸術学系）

- ・すぐわかる日本の絵画, 東京美術, 2002 [体芸, 医学 721.02-Mo72]

山内芳文（教育学系）

- ・「生きること」の教育思想史, 協同出版, 2002（「21世紀の教育学」シリーズ） [中央 371.5-Y46]

山本真理子（心理学系）

- ・社会的認知ハンドブック / 外山みどり [ほか] 共編, 北大路書房, 2001 [中央 361.4-Y31]

